

## 第2回 現庁舎跡地（周辺）利活用検討分科会、まちなか再生・賑わい波及検討分科会 議事録

日 時:令和7年(2025年)10月24日(水)10:00～  
場 所:議会棟2F 予算決算委員会室

参加者:(委 員)星野分科会長、国吉分科会長、本間委員、藤本委員、田中委員(Web)、山下委員(Web)

(事務局)庁舎周辺まちづくり課

(関係課)都市デザイン課、市街地整備課、交通企画課

・第2回分科会は審議事項に、熊本市情報公開条例第7条第4項ア及びイ(法人等に関する情報)、第6号(審議、検討等に関する情報)に該当する不開示情報が含まれるため、分科会長発議により、「現庁舎跡地(周辺)利活用検討分科会運営要綱」第7条2項に基づき、非公開で開催した。

### 1. 開会

### 2. 分科会長挨拶

### 3. 議事

#### (1)基礎調査の進ちょく状況とまちづくりの方向性について

(内容)

- ・事務局から、資料1「基礎調査の進捗状況」について報告し、“基礎調査内容”やそれを踏まえた“まちづくりの視点と方向性”について議論を行った。
- ・同資料を、熊本市情報公開条例第7条第4項ア及びイ(法人等に関する情報)に該当する部分を除き、検討委員会に提示することで決定。

(主なご意見)

【まちの構造に関するこ】

- ・今回のまちづくりプランでは、これまでの「2核3モール」の構造を発展させた、新たな大骨格を示すことが重要である。回遊やまちづくりの面で重要となる電車通りを「都市活動の軸」として捉え、「2核3モール」の軸と大きく円でつながるような構造を目指すのがよいのではないか。(星野委員、田中委員)

【建替え支援等に関するこ】

- ・まちなか再生プロジェクトの実績を踏まえると、容積率緩和による建替え促進効果は限定的である。財政支援を強化する等、実態にあったインセンティブも考えていく必要がある。(本間委員)

- ・電車通り沿いのエリアと電車通り内側のエリアでは、土地建物利用の特性が異なる。まちなか再生・にぎわい促進を図るためにには、これらの特性を踏まえたエリアごとの誘導用途の設定や、改修など建替えに留まらない支援などを検討することも重要。(星野委員)

#### 【にぎわい・回遊に關すること】

- ・まちづくりにおいては、來訪者を刺激する「熊本らしさ」が大事。熊本城に留まらない都市文化の発信や、文化やアートを活かしたまちづくりを進めることで、まちの魅力向上、ひいては滞在日数の延長等にもつながるのではないか。(国吉委員、本間委員)
- ・「熊本らしさ」は1箇所でなかなか作れるものではなく、色々なところに点在しているもの。少し広い範囲でみると、色々な熊本らしさが繋がっていないことが課題。(本間委員)

#### 【基礎調査に關すること】

- ・多くの若年層が福岡市に転出しているという実態については、他都市との比較等を通して、熊本に足りないもの等をつかんでいくことも必要。(国吉委員)

#### 【その他】

- ・(今後集計する)市民アンケートでは、生活者(消費者)目線からの意見が多く出されるものと想像される。まちづくりにおいては、長い将来を見据えた視点や実際に投資を行う人の意見も必要であるので、偏りがないよう多様な主体に対して意見聴取を行う必要がある。(藤本委員)
- ・「若者が憧れる暮らし」というようなフレーズがあったが、水辺のエリアなど、地価はそこまで高くないが、まだまだ魅力が発掘できるポテンシャルが高いエリアがある。このようなエリアを、若者がチャレンジできるような、拠り所としてはどうか。多少アクセス性が悪くても、チャリチャリ等の手段を活用することで十分に対応できる。(山下委員)

## 4 報告事項

### (1)熊本市庁舎整備に関する特別委員会(9/8 開催)の報告について

#### (内容)

- ・事務局から、9月8日に開催した熊本市庁舎整備に関する特別委員会での主な意見について報告を行った。

※参考資料1「特別委員会(9月8日)に関する報告について」

### (2)本市の交通の取組について

#### (内容)

- ・事務局から、本市を取り巻く交通の取組や現状について共有するため、「熊本県・熊本市の交通に関する取組」や「まちなか駐車場適正化計画」について報告を行った。

※参考資料2「県市調整会議資料(全体の交通政策関連の参考資料)、参考資料3「第9回熊本市駐車場適正配置検討委員会 説明資料」

(主なご意見)

・令和7年度、8年度と「都市交通マスタープラン」、「地域公共交通計画」、「自転車活用推進計画」、「まちなか駐車場適正化計画」など、交通に関する重要な計画が策定・改定されるが、交通とまちづくりは密接であるので、各会議体がまちづくりの動きを踏まえた計画策定を進めることができるよう十分な情報共有を行うこと。また、これらの計画での検討の結果は「(仮称)庁舎周辺まちづくりプラン」にも分かりやすく記載することが必要。

(田中委員、星野委員)

## 5. 閉会